

今月の相談

夫に家事を頼もうとしたら...

私は今年6月に出産をし、現在育児休業中です。初めての子育てということもあり、おむつ替えや授乳などしていると毎日があっという間に過ぎます。家事まで手が回らない日も多く、夫にも家事をしてもらいたいと思うのですが、「俺は仕事で疲れているんだ。家事はお前の仕事だろ。どうせお前は昼間子どもと遊んでいるだけだろう。お気楽でいいな。」と言われてしまい、取り合ってくれません。夫が仕事で疲れていることも分かりますが、私も一生懸命やっているのにそんなことを言われると悲しくなってしまいます。家事や育児を両立できない私がいけないのでしょうか。

相談員より

初めての子育てで、目まぐるしい毎日をお過ごしのことでしょう。分からないこともあり、不安になることも多いのではないのでしょうか。よく頑張っていると思いますね。昼間あなたは子育てで忙しい思いをしているのに、「お気楽でいいな。」などと言われると傷つきますし、要領よくできない自分が悪いのではないかと考えてしまい、どんどん追い詰められてしまいますよね。家事や育児は妻だけの役割ではありません。あなたの方夫婦にとってどんな形がベストな生活なのか、夫とどのように話し合っていたらいいか、一緒に考えていきましょう。



さんかくフェスタ 2023 開催!

さんかく講演会・各種セミナー・活動団体の展示・ワークショップなどに参加でき、家族で楽しみながら男女共同参画や多様性を学ぶことができます。広報とよた10月号やキラ☆とよたHP、チラシなどで情報発信しています。

場所 豊田産業文化センター
日時 11月12日(日) 10:00 ~ 14:00
主な企画 登録団体の企画展示・ステージ、相談ブース、スタンプラリー、おもちゃ作り、大道芸等ショー、農産物等物販、飲食ブース等



キラ☆とよたHP

さんかく講演会 ポーダーを越え世界最速へ ~モータースポーツと女性活躍~

講師 井原 慶子氏
レースクイーンからカーレーサーへ転身し、世界70か国を転戦。WEC世界耐久選手権では表彰台に上り、ル・マンシリーズでは総合優勝した世界最速の女性レーサー。現在は慶應義塾大学院特任教授での教育活動や、自動車関連企業の取締役を務めるなど、幅広く活躍している。
日時 11月12日(日) 14:00 ~ 15:30 (13:30開場)
参加費 無料
場所 豊田産業文化センター小ホール
申込 10月5日(木) 10:00から キラ☆とよた

女性のための電話相談室「クローバーコール」

クローバー
(0565) 33-9680
火・木~土曜日 AM10:00~PM4:00
水曜日 AM10:00~PM1:00 PM4:00~7:00

男性のための電話相談室「メンズコールとよた」

(0565) 37-0034
毎月第2・第4金曜日 PM6:00~8:00

◇クローバーコール・メンズコールとも祝日、年末年始休み
◇相談無料・秘密厳守

編集・発行

キラ☆とよた
とよた男女共同参画センター
〒471-0034
豊田市小坂本町1-25
(豊田産業文化センター2階)
TEL: (0565)31-7780
FAX: (0565)31-3270
E-mail: clover@city.toyota.aichi.jp
HP: https://clover-toyota.jp/

開館時間

AM9:00~PM9:00 日曜日はPM5:00まで
月曜日休館(月曜祝日はPM5:00まで開館)



【アクセス】名鉄豊田市駅から徒歩8分
愛知環状鉄道新豊田駅から徒歩3分

編集後記 この秋は世界ラリー選手権や子どもの権利条約フォーラムなどイベントが盛りだくさん!ぜひ、豊田の街を楽しみましょう!

Clover

とよた男女共同参画センター情報誌「クローバー」

No. 46

Autumn 2023

ENJOY!
RALLY
JAPAN



ラリードライバーのホン・ミンウィさんにインタビューしました!

子どもの権利条約フォーラム2023 inとよた
ある日の相談室「夫に家事を頼もうとしたら…」

【表紙写真】豊田市在住のラリードライバー ホン・ミンウィさん

Cloverとは?

クローバーの葉を一人ひとりの生き方を尊重した道しるべとして表現することで広く親しんでいただけるよう情報誌の通称を「クローバー」と名付けています

「チャレンジしなかったら絶対に後悔する」と思い 台湾から日本へ



(株) 豊田中央研究所で研究員として勤務する傍ら、ラリードライバーとして日本国内のラリー大会に参戦しているホン・ミンウィさん(豊田市下山地区在住)にインタビューしました!

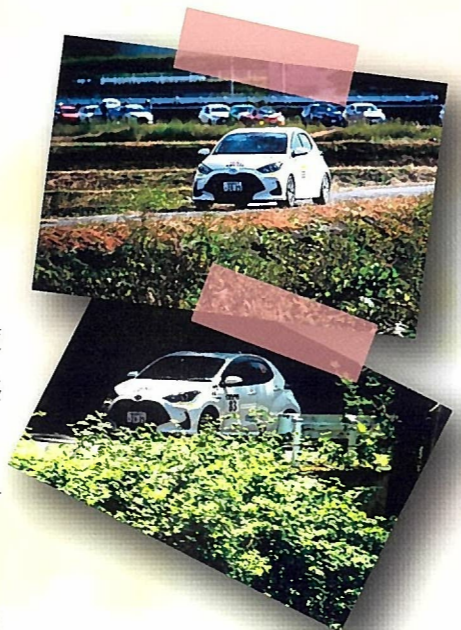
ラリードライバーを目指したきっかけは?

小学生の頃、WRCの番組を見てカッコいい!と思い、自分もラリードライバーになりたいという夢を持ちました。当時は情報もなく、台湾ではどうやったらなれるのかもわからなかったのですが、ほとんどあきらめていたけれど、チャレンジしなかったら後で後悔する!と思って10年ほど前に日本にきました。



女性ラリードライバーとして大変なこと

ラリーカーの車内温度は70°Cを超えることもあるという過酷な環境で、男性ドライバーと比べるとやはり体力の差が出てしまいます。以前、熱中症でレースをリタイアしたことがあり、とても悔しく、体力が足りないを実感したので、真夏に自転車でトレーニングをするなど努力して克服しました。逆にメンタルの面では、女性の方が競っているときでも熱くなりすぎず冷静でいられると思うので、長所もあると思います。



ラリードライバーの魅力

ラリーは毎回、会場も違いコースも複雑。覚えられない道を走るので常にチャレンジすることが楽しいです。また様々な場所がコースになるので、いろいろな風景が見られるし、その土地の料理も楽しみのひとつ。人と人とのつながりが近く、知らない人も手を振って応援してくれるのがとてもうれしいです。



ラリーの興奮が再び日本にやってくる!ラリージャパン2023が開催されます!

2023年1月にラリー・モンテカルロで開幕したWRC世界ラリー選手権全13ラウンドの最終戦。豊田市、トヨタ・モータースポーツ・クラブ、特定非営利活動法人M.O.S.C.O.(モスコ)の3者による共同主催で、自治体が競技の主権者になるのは全国初。

会場 愛知県・岐阜県

期間 2023年11月16日(木)~19日(日)



子どもと大人で楽しむ、学ぶ / けんりじょうやく 子どもの権利条約 フォーラム 2023 inとよた



31回目となる「子どもの権利条約フォーラム」が11月25日(土)・26日(日)に豊田市で開催されます。本フォーラムの副実行委員長であり、市民活動団体「こどものマイクけんきゅうかい」の代表としてもご活躍されている安藤 順(あんど うん)さんにお話を伺いました。

本フォーラムは「子どもの権利条約」の普及と、権利の主体である子どもたちも参加して、すべての世代の人々が子どもの人権について学び合い交流するイベントです。幼い子どもたちには「小さなときにこんなあったな」と、楽しい思い出として記憶に残してもらえればと思います。また、子どもの権利は、まずは大人が知らなければならないことだと考えます。学校関係者の方々にもこのフォーラムにぜひ来てもらいたいです。



安藤 順さん

本フォーラムは子どもが色々な入り口から企画に参加できるようにしています。一つは、公募等による参加です。もう一つは、豊田市が設置する「子ども会議」の委員として。また、そうした子たちだけでなく、人前に出ることはしないけれど伝えたいことがある子たちも中にはいますので、声なき声に耳を傾けるプロジェクトもひそかに動いています。その子たちが途中で「やーめた!」となればプロジェクトはやめに

なりますが(笑)あくまで主体である子どもが自由に参加してもらえるように心がけています。25日は豊田市コンサートホールにて、国連子どもの権利委員会委員の大谷美紀子さんの基調講演と、子どもたちを交えたパネルディスカッションを行います。大谷さんは日本人で初めて委員に選ばれ、2021年5月から2年間委員長も務めていた方です。子どもの権利の大切さを伝えてほしいと思います。



こどものマイクけんきゅうかいの
田島さん(左)、安藤さん(右)

フォーラムについての
詳細はこちらをチェック



豊田市は国際都市であり、多様な人たちが生活する街です。このフォーラムを通じて、豊田市民一人ひとりの意識を変えるきっかけになってほしいと願っています。